松川町立松川中央小学校

（１）学級数　23 学級

（２）児童・生徒数　528 名

（３）職員数　65 名

（４）学校紹介　https://town-matsukawa.info/chuo/

昭和 43 年、松川南小学校と松川中部小学校が統合されて発足。さらに平成 27 年に松川東小学校と統合し、今年度で 56 年目を迎える。「よく学び・よく遊び・よく働き・思いやりのある子」を学校教育目標として、本年度は特に児童会を中心に「先手のあいさつ」「無言清掃」に全学年児童を挙げて取り組んでいる。また、「スリンプルプログラム」を取り入れ、「かかわりの力」を高める取り組みも行っている。

（５）日常的な情報機器の活用

GIGA school 構想以前より、町から 100 台程度のタブレットが学校へ導入され、授業で活用されていた。ただ、担任裁量で用いられることが多く、本校の子どもたちが等しく ICT 機器に接することができていた訳ではない。

一人一台端末配布以降は、スマイルネクストをはじめとするソフトで意見共有を行ったり、

Google のドキュメントやスライドを用いて学習のまとめをしたりする学習活動に活用している。また、デジタル教科書を利用しての授業も日常的に行っている。児童会選挙の投票や児童総会の議案書読み合わせ等もタブレット用い、使用頻度は高まっている。

ただ、実情として常にタブレットが机上に用意されている訳ではなく、担任の指示によりタブレットを起動し、課題に取り組んだり、振り返りを記入したりというタブレットの使い方が主流であり、子どもが学び方を選択して利用するという環境下にはない。また、授業においてはノート使用の率が高く、常にスプレッドシートに振り返りを記入しているのは外国語の授業のみとなっている。使用状況としても高学年の方が文字の打ち込み等を含め利用率は高く、高学年でもローマ字入力より手書きを選ぶ児童も少なくないのが現状である。

現在の本校の ICT 活用の重点は、子どもたちのタブレットの使用技能向上ではなく、「ICT 機器を使う方が便利」「わかりやすい」ということを子どもたちが実感し、教師がそれらの学習活動の際に適切な ICT 支援を行うことができるよう授業改善・環境整備を行っていくことであると考えている。

（６）課題等

インターネットを利用した情報収集能力のスキルは高くなっているが、ひとつのサイトのみの情報、わかりやすいサイトの情報などをそのまま信用することが多い。いろいろな情報を集め、それらの中から信頼できる情報を選んだり、まとめたりする能力を養っていく必要がある。